

事業名	平成 25 年度能登キャンパス国際化促進事業 「奥能登における留学生研修ならびに地域交流の促進」	
活動 形 態	開催場所	輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
	活動人数	38 名
	期間	平成 25 年 6 月 14 日～平成 26 年 3 月 31 日
活動概要	<p>留学生と日本人学生が能登地域において共同で行う研修活動として、地域の方々との交流や様々な地域活性化の取り組みをより深く学習する機会を設け、日本人学生及び留学生が過疎化の進む地域といかに向きあうか、学生一人一人が考える契機とした。</p> <p><第 1 回スタディ・ツアー> 日程：平成 25 年 8 月 23 日（金）～24 日（土） 場所：輪島市、穴水町 参加学生：14 名（台湾、ベトナム、中国、ロシア、タイ、ポーランド、日本）</p> <p>[主なプログラム] 文 化：輪島大祭に担ぎ手として参加 里 海：ぼら待ちやぐらを活かした地域活性活動に参加 里山×里海：能登ワイン 畑と工場の見学</p> <p><第 2 回スタディ・ツアー> 日程：平成 26 年 2 月 25 日（火）～26 日（水） 場所：珠洲市、能登町 参加留学生：24 名（中国、ベトナム、アメリカ、ニュージーランド）</p> <p>[主なプログラム] 文 化：とも旗祭りの準備作業体験、真脇遺跡見学 里 海：海藻、漁師の仕事見学、お料理体験交流 里山×里海：鍛冶屋、酒蔵、薪銭湯見学</p>	

事業名	平成 25 年度能登キャンパス国際化促進事業 「能登を訪れる海外からの研究者の調査ならびに地域交流の促進」	
活動 形 態	開催場所	輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
	活動人数	50 名
	期間	平成 25 年 6 月 14 日～平成 26 年 3 月 31 日
活動概要	<p>フィリピン大学オープンユニバーシティ学長、イフガオ州立大学長、イフガオ州知事を招聘したワークショップを開催。</p> <p><研究内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登地域は過疎・高齢化が深刻な問題となっており、里山・里海が荒廃 ・平成 19 年、「能登里山マイスター」養成プログラムが始まる。 ⇒能登の将来を担う若手リーダーの育成を目的としたプログラム ・平成 23 年、GIAHS 北京フォーラムにて、能登地域の「能登の里山・里海」が佐渡市と共に GIAHS の認証を受ける。 ・平成 25 年、七尾市にて世界農業遺産国際会議を開催。伝統的農法や生物多様性について議論が交わされる。 ⇒世界各国から多くの海外研究者が能登地域を訪れる。各 GIAHS の現状や抱えている問題点について議論が行われる。また今後の GIAHS 同士の地域交流促進が図られる。 ・平成 26 年、GIAHS 認証のフィリピンのイフガオ地方もまた能登地域の同様に過疎・高齢化の問題が深刻化であり、金沢大学や奥能登地域とイフガオによる協議会が開かれ、イフガオ地域の問題点が議論される。 ・平成 26 年、3 月下旬「イフガオ里山マイスター養成プログラム」の開講式が行われる。 <p><イフガオ里山マイスター養成プログラム></p> <p>平成 26 年 5 月より、「イフガオ里山マイスター養成プログラム」が開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の若年層が受講生となり、伝統的な農業システムを学び、日本の能登地域における農業システムについても交流を通して学ぶ。 ・平成 26 年度中には、能登地域及び佐渡市への研修も決まっており、相互の交流促進が図られる予定となっている。 	